

# 音楽室だより 6年生冬休み号

2025年12月25日発行

行事の多い後期でしたね。6年生は最高学年として、学校全体への役割を担いつつ、一つ一つを丁寧に実り多きものとして成功させてくれました。新しい課題に前向きに進んでいる姿が頼もしかったです。ご家庭での温かいお言葉が励みになったことを聞いています。保護者の皆様にはたくさんご協力を賜り感謝申し上げます。9月から12月までに学習した主な内容を書いています。ぜひ、お子様とご覧になってください。

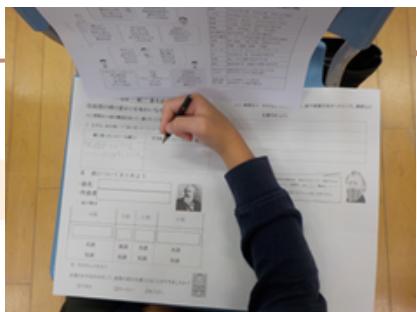


## 詩と音楽とのかかわりを味わおう

言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、滝廉太郎の作品を中心に日本の歌を聴き、古くから歌い継がれて、人々が大切にしている曲の魅力を学習しました。また、合唱の声の種類についても学習し、男声の低い声や話し声と違う様子にびっくりしている様子でした。

## いろいろな音のひびきを味わおう

ブラームス作曲『ハンガリー舞曲第5番』の鑑賞の学習では、友達とペアになって手合わせしながら『速度の変化』を感じ取りました。『トントンパー』とリズムにのって順調に手合わせしていたら、急に音楽の速度が変わってしまい、手合わせが難しくなります。そこが感じ取るチャンス！この気付きを生かして、音楽の変化を考えてみました。写真はワークシートと手合わせの場面です。



## 冬休みの宿題：リコーダー掃除

リコーダーの学習も頑張りましたので、冬休み中に表面と筒の中をよく洗ってください。中性洗剤を使って洗っても構いません。洗ったあとはよく乾かし、グリスを塗ります。ガーゼも洗うか新しいものに交換てきてください。



## 学習発表会で「地球星歌」を合唱しました

宮沢賢治をテーマにした内容ということで、それに合った歌詞の曲を選びました。「地球星歌～笑顔のために～」のテーマは、主に平和への祈り、大きな愛、そして私たち一人一人の繋がりと未来を創る力です。この曲は、作曲者であるミマスさんが世界一周旅行などの旅の体験を通して感じ取った、雄大な自然と人々の優しさ、そして宇宙の中で地球という星に命を授かった奇跡的な感覚が根底にあります。子供たちの未来が、いつまでも平和でありますように。写真は自分たちで練習に取り組んでいるところです。

